

"辛口評論家による疑問の数々"

「ファイルすぐでる！」について、システム開発者が辛口評論家に説明した。

■「ファイルすぐでる！」は必要か

開発者：・・・という理念と機能になっております。

評論家：まず、基本的なことだが、そもそも「ファイルすぐでる！」は必要なのかね。

開発者：「ファイルすぐでる！」を使用すると快適になります。幸せな気分になります。
費用対効果もあります。

評論家：理由になっていないな。はっきりしないな。全く説得力に欠けている。

開発者：皆さん、今の操作は面倒と感じているのでありませんかね。

評論家：いや、そんなことが問題にはなっておらんだろう。大半の人は、今のままだもそんなに苦労していないぞ。そんな人は、「ファイルすぐでる！」を使用してもありがたいと思わないだろう。

開発者：先生は、ちなみにパソコンをどの程度ご利用になりますか。

評論家：もちろん、日々文章を書くのが仕事で、いくつも原稿を作成しておる。

開発者：たくさんファイルを作成しているけれど、あまり不自由はしていないということですね。そのような方は多いと思います。

評論家：データを保管するのに分類を行って、それぞれのフォルダにデータを保管している。ファイルを探すことはあまりないな。

開発者：でも、文章を書くために取材の情報も整理されているでしょうし、外部から様々な情報の提供も多いのではないのでしょうか。

評論家：そりゃー多いよ。

開発者：何度も情報を確認したりして、ファイルを開く回数が多くなれば、その都度クリック作業が面倒に思われませんか。

評論家：いや、思ったことがない。

■無駄をなくすことが目的だった

開発者：そうですか。実は、もともとクリック作業が面倒と考えて、「ファイルすぐでる！」を開発したのではないのです。

評論家：なに、快適さを目指したのではないというのか。

開発者：そうです。無駄を減らすことを考えたのです。

先生が文章をお作りになるときに、手書きですと原稿用紙に書き込む作業は、原稿作成の目的とする作業です。パソコンですと、たとえばワードが開いてからの作業がそれに当たります。でも、ワードの原稿ファイルをクリックしながら探して開くまでの作業は、補助的な作業であり、これは無駄な作業と言えるものなのです。こう考えると何とか無駄な操作を減らしたいと思いました。

評論家：厳密に考えればそうだが……。あまり無駄を意識していないけど。

開発者：この作業は、企業では頻繁に発生しているのです。企業は効率重視です。利益を高めるには無駄な作業を減らすことが重要です。

I Tの利用の中で無駄は無いかと考えた結果、ここに目を付けたのです。クリックを減らすこと、すなわち無駄なことが無くなれば快適になるというふうに言い換えているわけです。

評論家：それは一理あるな。

開発者：先生の場合も、無駄なことをなさっていますが、お一人では全体として大きくなりません。全然問題ではありません。また、労働単価が高ければそのような無駄もあまり気にしなくてもいいわけです。

評論家：もちろん、そのとおりだ。先の質問は、企業の立場で考えて必要なのかと聞いておるのだ。

開発者：正直に言いますと、よくわかりません。企業毎あるいは個人ごとに考え方は違います。この無駄な時間が全体としていくらになるかと計算すると大企業では、相当大きな数字になります。1人1日5分とします。これにはクリックを減らす時間とファイルを探す時間を含めています。5分×20日×12月で、20時間／年・人になります。原価が1時間平均3000円としましょうか。6万円／年・人になります。1000万人の企業でしたら、年間6000万円の経費節減となりますが、パソコン作業は、生産ラインと異なりますから、1日5分がどうってことは無いと思います。だから、数値的に効果はあるけれど、必要性はよくわからないということです。

評論家：そこなんだよ。経費節減といっても、今の計算は単なる計算であって、経費節減に直結するものでないと考えられる。だから、必要ということにはならんだろ。

■快適な使い方

開発者：それでもですね。使ってみると明確に気持ちがいいですよ。楽ですよ。愉しくなります。

評論家：私にはよくわからんが、どうしてそのように思えるのだ。また、ビジネスに気持

ちがいいことがどんな効果になるのか。

開発者：先生の書斎は、書物やノートが散らばっていませんか。もちろんパソコンも利用されておられますが。

評論家：あまり整理されていない。そのように散らばっていてもどこに何があるかわかるとるから片づけてしまっでは困る。

開発者：散らばっている書物は、すぐに手にとれますね。段ボールに入っている書物は、取り出すのに手こずりますよね。

評論家：そういうことだ。よくわかっているではないか。

開発者：先生、「ファイルすぐでる！」というのは、まあファイルを散らばらしている状態を作っている環境に近いと言ったら分かりやすいと思いますが、いかがでしょうか。

評論家：ん、よくわからん。

開発者：「ファイルすぐでる！」は、パソコンを立ち上げたら、ファイルが散らばっている形で見えるんです。ポイントは、ファイル名が直接見えるのです。いくつかに分類してしまして、例えて言うと、机の上、長椅子の上、書棚、テーブルの上などに置かれている書物が、ファイルマップ名という分類で、「机の上」を見るとファイルが見えるわけです。「テーブルの上」を指定するとそこに置かれているファイルが見えるのです。そこから欲しいファイルをすぐに開くことができます。先生の書斎と同じ状況になります。パソコンに通常保管されているものは、段ボール箱と同じです。順番に手繰っていかないと探し出せないわけです。段ボールの中の資料を取り出していくのは力が要りますよ。クリックする作業も指に負荷がかかっています。どちらが便利か、先生お分かりですよ。

評論家：そういうことか。気持ちがいいということもなんとなくわかる気がする。

開発者：ファイルが見えるということは、状況が分かりやすくなりますから快適につながるんです。

■ショートカットも不便

開発者：ファイルマップという分類方法も開発の途中から出てきたものです。ユーザからショートカットが便利にならないかという意見を聞いたのです。

評論家：ショートカットはよく使っとる。そうしないと不便だからな。多くの人がよく使う方法だ。

開発者：それでも、ショートカットは不便だという意見なんです。

評論家：何を言っているのだ。ショートカットは便利でないか。

開発者：ショートカットが少ないうちはいいですが、多くなったらどうでしょうか。ショ

ートカットを作るのも面倒ではありませんか。ショートカットだってクリックは必要です。また、デスクトップに散在させてあって、乱雑ですよ。

評論家：そう言われればそうだが、しかたがないであろう。

開発者：その仕方がないということを改善しようとするのが、「ファイルすぐでる！」なのです。

評論家：いや、誰しも仕方がないから我慢していると思っていない。

開発者：どうしようもないからベストだと思いこんでいるのです。実際は、「今はベストでないけれど、それしかないから相対的にベストな状態」ということなんです。我々は、不便なところが見つかれば改善して、よりベストな環境にしようと考えているわけです。

評論家：それはメーカーが行うことだと考えているから、誰もが我慢せざるを得ない。

開発者：でも、「ファイルすぐでる！」は挑戦しているのです。よりベストな環境を作るためにです。

評論家：もう一度、特徴を説明してくれ。

開発者：特徴と効果も説明します。

- ・自分の作業に必要なファイルだけを直接見られて、直接クリックできるようにします。すぐに作業を始められます。
- ・エクスプローラと同じ階層型の並びにします。階層型の表示は分かりやすい方法ですね。
- ・ファイルマップに表示するファイルの構成は、その表示内容は継承させます。
- ・ファイルマップは、いくつでも作成できることとします。
- ・検索はあまり必要なくなりますが、履歴検索機能とフォルダを対象にした検索機能を付けます。これは簡単に見つけられる方法です。
- ・ファイルマップとサーバ設定のデータをサーバやパソコン内に外部出力や外部から入力できるようにします。

評論家：なるほどね。ちょっと面倒な操作が入ってくる。メーカーは嫌がりそうだ。それから、既存機能との関連性も説明してくれ。

開発者：普段使っている方法と対比させます。

- ・エクスプローラによるファイル指定をファイルマップで行うことにしています。ファイルの表示を継承させることがポイントです。最初からファイル名が表示されていますから、これでクリック数を軽減できます。
- ・検索機能は従来の方法は使いにくい。ほとんど使用しませんね。必要なファイルは一度使用したファイルですから、履歴検索という方法で簡単にできるようにします。
- ・最近使ったファイルは、ファイルマップで実現できています。しかも、直近のファイルから色分けしますから、ファイルマップの中で見つけることを容易で

す。

評論家：機能的には、それぞれがちょっとだけよくなるぐらいだ。工夫は認めるがね。個人レベルでは、効率化というほどのものでないんだなあ。

開発者：そうなんですよ。だから必要かどうかはつきり申し上げられないんです。でも、世の中の改善というのは、秒単位で行われているんです。ファイルの置き場所が思い出せなくて数分を要する場合があります。分単位で作業時間が減少できれば大きな効率化ではないでしょうか。

評論家：個人で異なるし、あまりパソコンを使用しない場合とかがあるので、客観的に効率化できるというほどのものでないだろう。

■ファイルの共有が実現する

開発者：ある社長が体験的に述べていることがあります。サーバで情報を一元化すべきだということです。サーバは、多くの部署が共同使用することが発端でした。この場合、サーバをデータの保管場所として共同で使用するだけで、情報を共有することは考えていなかったのです。情報をグループ内で同じサーバに入れることはあっても、共有している意識はありません。Webシステムで情報やデータを一元管理する場合は、共有意識があります。同じところに集めていますからね。サーバからファイルを見られる環境だけでは、自分のファイルを保存するだけの意識しか働きません。本来、ファイルを共有していたら、わざわざそのファイルをメールで送るようなことはしないわけです。他の人と共同で利用すると思っていないからメールで送らないと伝えられないことになっている。頻繁にメールでファイルが送られている現状を、この社長は無駄だと気付かれたそうです。

評論家：話が長くなってきたが、どんな便利なことができるのかな。

開発者：続きになりますが、「ファイルすぐでる！」のファイルマップデータを仲間で共有していたら、そのマップは、共有していることになるのです。Webシステムは不要です。社長に報告データをメールで送らなくても、社長が日々保存しているマップを見れば、データができたかどうかチェックできます。社長でなくてもプロジェクトリーダーや課長などが同様な利用ができます。これは、便利ですよ。

評論家：つまり、個人的な利用から組織的な利用までできる可能性があると言いたいということか。

開発者：可能性ではなく、可能なことなのです。

評論家：そうするとサーバの使い方も変わる。新しい使い方を開発したことになるのか。

開発者：これは、最初からは気付かなかったのです。外部入出力を取り付けてから気付い

たことです。企業の共通データは、月に1回程度しか見ませんから所在を突き止めることに時間がかかってしまいます。いつでも簡単に見られるようになりますから、多くの人が便利になりますね。

■新しいパソコンツールとしての存在感

評論家：パソコン操作の利便性にサーバの共有が加わると従来の機能の代替ツールということではなくなるな。新しいツールとして位置付けてもいいかもしれない。

開発者：私たちは、「ファイルすぐでる！」のイメージを伝えるためにこんな表現でPRしています。それは、「あなたは、『クリック派』、それとも『ファイルすぐでる！派』」というものです。

評論家：今の話からは、ちょっと適切ではないと思うが・・・

開発者：確かに、当初の無駄をなくすというコンセプトからイメージしたことです。これは初期段階では間違いではないと考えています。また、先生のおっしゃるように「ファイルすぐでる！」の本質的な価値はこれではないと考え始めています。

評論家：どんなふうに？

開発者：特にサーバを使用する法人向けの場合、データの外部入出力を有効に使用し、ファイルを共有できるという明確な効果を引き出せることになります。Webシステムなどが無くても情報共有が可能になるのです。共有サーバを導入している企業にとっては、「ファイルすぐでる！」をWebシステム代わりに使用できますから、必須のソフトと考えられるのではないのでしょうか。

評論家：その場合は、コストは十分なのか。

開発者：コストは、月100円で、年間1200円です。買い取りの場合は、3600円です。毎月発生する無駄な時間を減少させるには安すぎます。

評論家：従来のツールの改善によって実質的に時間短縮効果があること、ファイルの共有環境も簡単にできるという点は画期的とも言えるかもしれんな。

開発者：先生にご理解いただきまして有り難く思います。

評論家：早まるな。一度、使ってみてからのことにする。

開発者：よろしくお願いします。本日はありがとうございました。

■まとめ

開発者：あまり辛口の評論がでませんでしたが、さらに改善を続けることが重要だと認識しました。